

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号

特許第7065418号  
(P7065418)

(45)発行日 令和4年5月12日(2022.5.12)

(24)登録日 令和4年4月28日(2022.4.28)

(51)Int. Cl.	F I
G 0 9 G 5/00 (2006.01)	G 0 9 G 5/00 5 1 0 V
G 0 9 F 9/00 (2006.01)	G 0 9 G 5/00 5 5 0 C
G 0 9 G 5/36 (2006.01)	G 0 9 F 9/00 3 5 4
	G 0 9 F 9/00 3 6 2
	G 0 9 F 9/00 3 6 6 A
請求項の数 2 (全 12 頁) 最終頁に続く	

(21)出願番号	特願2016-27308(P2016-27308)	(73)特許権者	597040902
(22)出願日	平成28年2月16日(2016.2.16)		学校法人東京工芸大学
(65)公開番号	特開2017-146423(P2017-146423A)		東京都中野区本町2丁目9番5号
(43)公開日	平成29年8月24日(2017.8.24)	(72)発明者	内田 孝幸
審査請求日	平成31年1月23日(2019.1.23)		神奈川県厚木市飯山1583 学校法人東
審判番号	不服2020-16575(P2020-16575/J1)		京工芸大学内
審判請求日	令和2年12月2日(2020.12.2)	(72)発明者	川村 仁志
			神奈川県横浜市戸塚区原宿3-52-14
		合議体	
		審判長	中塚 直樹
		審判官	濱本 禎広
		審判官	清水 靖記
最終頁に続く			

(54)【発明の名称】 ディスプレイ装置及び配列ベース

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

連結された複数のディスプレイ装置であって、  
前記各ディスプレイ装置は、配列ベースに配設され、隣接するディスプレイ装置は、直接あるいは前記配列ベースを介して間接的に、信号の授受を行い、  
前記各ディスプレイ装置は、他のディスプレイ装置とどのように配列しているかを示す隣接配列情報を取得して出力する画面部と、この画面部が備えるディスプレイと、前記画面部及び他のディスプレイ装置から出力された隣接配列情報を取得する隣接配列情報取得部と、前記隣接配列情報取得部が取得した隣接配列情報に応じて前記ディスプレイの表示を制御する配列応答制御部と、を有し、  
前記隣接配列情報は、ディスプレイ装置を識別するために前記画面部が出力する装置IDと、他のディスプレイ装置が出力する隣接配列情報を基準にして取得される座標情報と、四隅又は縁に設置された場合に取得される設置された場所に特有の隣接配列情報とを含み、  
前記各ディスプレイ装置は、環状とされたベルト状の配列ベースの表面に周回するように配列され、前記配列応答制御部の制御により、個別に表示を行い、または、一体的に用いられて画像を表示する  
ことを特徴とするディスプレイ装置。

【請求項2】

前記各ディスプレイ装置は、前記ディスプレイを押しこむことで前記ディスプレイが押し